

(第3回、最終)契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年2月26日
契約業者名	東鉄工業株式会社
契約業者の住所	東京都新宿区信濃町34番地
工事の名称	R4国道357号有明立体(山側)下部工事
工事場所	東京都江東区有明地先
工事種別	一般土木
工事概要	RC橋脚工 1式(場所打杭工 32本、橋脚躯体工 3基) 防護柵工 1式 構造物撤去工 1式 仮設工 1式
工期(自)	令和5年4月1日
工期(至)	令和7年3月31日
変更前の契約金額	¥425,370,000
変更金額	+¥135,960,000
変更後の契約金額	¥561,330,000
変更理由	1. RC橋脚工 1) 現地調査の結果、現場打杭施工の際に落下物影響範囲を考慮すると現道を規制して夜間作業とする必要があり、昼間施工から夜間施工への変更が生じたため、場所打杭工を増工する。 2) 土質等試験の結果、場所打杭残土が高含水比土であり、残土処分から泥土による産廃処分とする必要があるため場所打ち杭工を増工する。 3) コンクリート温度応力解析の結果、ひび割れ抑制のためのコンクリート規格の変更が生じたため、橋脚躯体工を増工する。 2. 防護柵工 工程調整の結果、工事完成時の現況復旧の内容が変更となったため、防止柵工を減工する。 3. 仮設工 1) 現地調査の結果、隣接する首都高への接触防止を検討した結果、打設工法を変更する必要があるため、鋼矢板の施工方法を変更する。 2) 場所打杭工の夜間施工への変更の結果、交通誘導警備員の配置計画に変更が生じたため、交通管理工を増工する。 4. 共通仮設費 関係機関との協議の結果、首都高と共同溝の変位計測工を実施する必要があるため、計測工を追加する。 5. 工期 工期は夜間作業に伴う警察協議の結果、施工時間に制約を受けたことから、工期を31日間延長し、令和7年3月31日までとする。